

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 26 年 5 月 18 日 (日) 午後 2 時 ~
開催会場	土田公民館
班長	澤野 伸
副班長	山口 正博
司会者	川合 敏己
報告者	小川 富貴、澤野 伸
記録者	可児 慶志、中村 悟、山口 正博
パソコン操作	山口 正博
参加者数	33 名
実施内容	・平成 26 年度予算審査および質疑 ・空き家問題への取り組みおよび質疑・意見交換
主な意見 提言等	<p>【第 1 部】</p> <p>問：ボランティアの参加者数についての目標値はあるのか。</p> <p>答：子育てと高齢者対策での募集となっているが、数値目標は不明である。但し、現在対象外のボランティアをどうするかとの検討は、当然行ってゆかなければならない重要なポイントだと思っているので、その辺については議会としてしっかりと精査して行きたい。</p> <p>問：ボランティア申込者について、最近、自宅で子どもを預かって、死なせてしまったと言う事件があったが、この中でキッズクラブや子育てサロンのように子供に対する事業が多いようで、そのボランティアの人選についての対応が必要だと思うが、審査会はあるのか？</p> <p>答：ケースとして悪意を持って参加することも考えられる。こうした指摘は非常に大切なことなので、その点は我々も執行部と協議しながら事業に対するの進展を図りたいと思う。</p> <p>問：駅前子育て等空間創出事業ですが、駅前と子育てとどんな関係があり、どうして駅前でなければ駄目なのか。また、駅前と子育てと言う基本的な考え方が示されたのか？</p> <p>答：当初の構想では民間施設の誘致や図書館の移設などがあった。しかし、経済状況や立地などの理由により民間の進出が見込めないために公共単独での対応となった。また、図書館の移設は費用も膨大になることもあり財政面から併設をやめて改めて検討することとなり、可児市の重要施策である「子育て」を中心にした</p>

魅力あるまちづくりとして、乳幼児学級等の各種の子育ての機関や、教室を集めて駅前を、子供を中心とした賑わいを創りたいと言う構想となった。

問：駅舎の改築が駅前のにぎわい創出のために必要ではないか。

答：JRおよび名鉄の総合橋上駅の建設が検討されたが、区画整理事業も十分にできていない状況で、高額な建設費を可児市の負担で行わなければならないため断念した。ただし、2年後を目途に、JR東西自由通路の建設を目指しており、エレベーターを設置し、乗降客だけでなく、自転車でも通過できる構造として、計画を進めている。

問：アーラやスタジアムの建設はできたが、総合体育館の建設計画はあるか？

答：計画として提示はされていない。現在KYBスタジアム周辺の坂戸にある県の農業研修センター等の土地を買収する交渉が行われている。今後土地利用も含め、体育施設の充実が図られることを期待している。

問：Kマネーの今年度の発行額の予定はどれだけか。

答：Kマネーとしては3,885.1万円がKマネーとして発行される。

総予算は約8,400万円となっているが、その事業費の内訳は、住宅リフォーム助成金事業の3,000万円や商工会議所の助成金107.5万円、商工会議所青年部の助成金50万円等をKマネーに置き換えて、市内にて使うことができるようにし、市内事業者の経済の活性化を図る狙いがある。その他に報償費として、長寿のつどいの記念品代や商工会議所青年部の全国大会の奨励金を予定し、合計で3,885.1万円になる。換金のためにKマネーの流通額であるこの金額を銀行に入れなければならないので倍となり、他に費用として、Kマネーの印刷費が200万円程度、事務委託が320万円で、予算額は合計約8,400万円程度となっている。実質の事業費自体は印刷費などの500万程度である。

意見：ポイント制度ではボランティアの増加を目的にしているのか。すでにボランティアをしている方々にポイントを付与することになるのではないか。この制度を推進することにより、ボランティアを強制されるような雰囲気を作ることにならないか。十分注意をして欲しい。

【第2部】

問：空き家が発生しない施策が必要ではないか。在宅介護や、寝たきりになる前に、元気なうちに家を売却して高齢者住宅に移住してもらおうような方策を取った方が、まちの活性化などへ繋がると思うが？

答：空き家・空地バンクとして平成24年度から実施している。空き家になってしまったものについては、その橋渡しとして行政も取り組んでいるが、おっしゃられる通り元気なうちに高齢者住宅などへ移転して頂くための手助けをする施策が未だないため、その様な政策提案を議会としても提案して行きたい。

意見：空き家になる前の対策について、娘や息子などその家族が可児市に移り住んでいただくことが必要と考え、そのために今後の生活プランを考え、「可児市に移住したらこんなことがある」など小さなことから始めたらよいと思う。

【その他】

意見：報告会に参加して、国会などのように高所目線で対応されているような印象と違い、市議会では市民目線で対応していることが分かった。このように議会の方々と実際に市民が顔をわけて、話し合いとか自分の本心を言えるような機会が設けられていることはすごく貴重であり、大切なことであると思うので、このような議会報告会やボランティア活動の場所にも議会の方たちが顔を出しただけであれば、よりミスマッチングは減っていくと思った。また、こうした機会に僕らも参加をさせて頂いて意見を出して行けたらと思った。

平成 26 年 5 月 29 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 土田公民館会場 班長 澤野 伸 ㊟